

ビジョンに掲げた5年間の取組		令和7年度の計画 (R7.5.28 報告内容)	構成員	連携団体	取組実績 (令和7年度)	進捗状況	今後の方針
諏訪湖環境研究センターの運営		諏訪湖環境研究センターの運営	諏訪湖環境研究センター		・諏訪湖環境研究センターにおける水質及び生態系に関する一体的な調査研究を推進	A	・引き続き、調査研究を推進
調査研究の推進	①諏訪湖の底質、貧酸素発生状況の把握及び貧酸素の改善手法に関すること	漁場環境水質調査	水産試験場諏訪支場		・湖心：月1回	A	継続
		貧酸素調査	諏訪湖環境研究センター	信州大学理学部附属諏訪臨湖実験所	・湖内連続測定8地点(7月～12月)	A	・継続して実施
		底質調査	諏訪湖環境研究センター	信州大学理学部附属諏訪臨湖実験所	・底質酸素消費量調査2地点(6月)	A	・継続して実施
		プランクトン調査	諏訪湖環境研究センター		・植物プランクトン1地点(湖心) 月1回	A	・継続して実施
			R7～諏訪湖環境研究センターで実施		・動物プランクトン1地点(湖心) 月1回	A	・継続して実施
	②貧酸素水塊の挙動に関すること	貧酸素調査(再掲)	諏訪湖環境研究センター	信州大学理学部附属諏訪臨湖実験所	・湖内連続測定8地点(7月～12月)	A	・継続して実施
	③ヒシ除去場所及び覆砂場所における水質浄化効果と生態系に及ぼす影響に関すること	覆砂場所モニタリング	諏訪湖環境研究センター		・水質4地点(3年に1回実施、令和7年度は実施なし) ・底質4地点(3年に1回実施、令和7年度は実施なし) ・底生生物(シジミを含む)の生息環境の調査	A	・継続して実施
		水質モニタリング	諏訪建設事務所		・下諏訪町高浜沖他(7月～10月 月1回)	A	・継続して実施
		覆砂場所生物モニタリング(シジミ)	水産試験場諏訪支場		・自然繁殖したシジミの生息調査：6地点(5月、8月、11月)	A	調査場所・方法等見直し
		底生生物・魚の定性調査	水産試験場諏訪支場		・底生生物・魚種別の個体数：6地点(6月、8月、10月)	A	継続
	④沈水植物の分布状況、水生植物の適正管理など植生に関すること	水生植物分布調査	水産試験場諏訪支場		・ヒシ及び水生植物の分布 全湖岸水域(7～8月 年1回)	A	継続(R7～マツモを追加)
		湖辺植生調査(沈水植物、抽水植物等)	諏訪建設事務所		・Cゾーン(R3水辺整備箇所)年3回(春、夏、秋)	A	・R7調査完了
		湖辺植生調査(抽水植物等)	環境保全研究所 諏訪湖環境研究センター		・抽水植物帯の植物調査(年7回・8～10月) ・ヒシ帯の動物プランクトン調査(6月、9月) ・ドローンによる空撮(5～11月、月2回) ・人工衛星画像によるモニタリング手法の検討	A	・継続して実施(抽水植物調査は1回/5年程度)
	⑤水質や関係データの解析、汚濁負荷物質の収支など汚濁負荷のメカニズムに関すること	水質常時監視	諏訪湖環境研究センター		・湖内環境基準点3地点及び釜口水門 月1回	A	・継続して実施
		水質常時監視(流入4河川)	水大気環境課 諏訪湖クラブ		・上川、宮川、砥川、横河川 6地点(月1回) [外部委託](水大気環境課) ・諏訪湖流入河川、天竜川で計30地点(全国一斉水質調査、6月1日実施)(継続)	A	外部委託により実施(水大気環境課)
水浴場水質調査		諏訪湖環境研究センター		・湖内環境基準点3地点 年2回(5月、8月)	A	・継続して実施	
⑥諏訪湖に流入する河川の水量、諏訪湖への地下水流入の状況など水の流れに関すること	流入河川水量等調査 (平成30年度～令和6年度まで実施)			(平成30年度～令和6年度まで実施)	-		
⑦流出水対策地区における汚濁負荷の低減に関すること	流入河川負荷量等調査	諏訪湖環境研究センター		・上川17地点(年4回)	A	・宮川における調査を実施	

ビジョンに掲げた5年間の取組		令和7年度の計画 (R7.5.28 報告内容)	構成員	連携団体	取組実績 (令和7年度)	進捗状況	今後の方針
調査研究の推進	⑧多様な魚類の生息環境を形成するための技術に関すること	魚群探知機による資源量調査	水産試験場諏訪支場		・ワカサギ資源尾数推定 湖内全域 (6~11月 月1回)	A	継続
		稚魚ネットによるワカサギふ化仔魚調査	水産試験場諏訪支場		・湖心、高浜 各1地点 (4~6月 9回)	A	継続
		漁獲量等調査	水産試験場諏訪支場	諏訪湖漁協	・湖内全域 (毎月)	A	継続
	⑨マイクロプラスチックの存在実態把握に関すること	諏訪湖まるまるゴミ調査	ビジョン推進会議構成員他		・11/1 第6回諏訪湖まるまるゴミ調査	A	引き続きごみの無い諏訪湖 WG の取組を継続する。
		マイクロプラスチック調査	諏訪湖環境研究センター		・土地利用の異なる4地点で流出特性を把握するための調査を実施(年4回)	A	・継続して流出特性を調査 ・諏訪湖流域イベントリーモデル作成
	⑩有害化学物質の環境残留実態と生態系への影響に関すること	環境残留実態調査	諏訪湖環境研究センター		・ネオニコチノイド系農薬の調査(5~6月、8月、上川4地点・宮川6地点・諏訪湖心) ・環境省委託事業の初期・詳細・モニタリング調査(12月)	A	・ネオニコチノイド系農薬は地点を再選定して年2回モニタリングを実施 ・委託事業は継続して実施
	⑪諏訪湖の水質・生態系への気候変動の影響と適応策に関すること	気候変動による災害地支援	和限	NPO 法人どんぐりモンゴリ	・炭素保全による温室効果ガス削減、災害地の再生として、水草堆肥、炭利用 ・諏訪湖魚介類生息環境修復事業の一部に竹炭利用の実験を行っています。		
		定点撮影カメラによるヒシ等の分布および結氷状況のモニタリング調査	環境保全研究所	国立環境研究所 信州大学理学部 附属臨湖実験所	・観測地点6箇所：湖面全域(日中2時間おきに画像を取得)		
	⑫その他	カモ類(魚食性鳥類を含む)生息個体数調査	諏訪地域振興局林務課		・6月、10月、1月に諏訪湖及び主な流入河川、天竜川で調査を実施予定	C	引き続き調査を実施する。
		指標水生動物(カマナエ)のモニタリング	諏訪湖環境研究センター		(諏訪湖環境研究C) ・流入河川の成虫調査(6月~9月、6回) ・諏訪湖岸の羽化殻調査(6月~8月、13回)	A	・成虫及び羽化殻のモニタリング調査を継続して実施